



2022年5月13日

各 位

会 社 名 佐藤食品工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 清水 邦雄
(コード 2814 東証スタンダード市場)
問 い 合 せ 先 管 理 部 長 那 須 智
電 話 番 号 0568-77-7316

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年3月期から2025年3月期までの3年間における中期経営計画（vision 2025）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、オンリーワン企業として、既成概念にとらわれず、果敢に新たな技術開発にチャレンジし、失敗から多くのヒントを得て、辛抱強く粘り強く取り組む姿勢のもと、「天然食品の持つ、“風味”を損なうことなく粉末化すること」を目指し、独自の商品開発に取り組んでまいりました。

当社の属する食品業界は、コロナ禍の影響により消費行動や嗜好が大きく変化したほか、堅調に推移していたインバウンド市場の急減速や地政学リスクの顕在化によって急激な原材料高、資源高に直面するなど厳しい事業環境となっております。

かかる状況のもと当社は、事業環境の変化に柔軟に対応し、安定的かつ持続的な成長を維持することを目的に中期経営計画（vision 2025）を策定いたしました。

2. 中期経営計画の概要

（1）対象期間

2023年3月期から2025年3月期までの3年間

（2）中期経営計画（vision 2025）のテーマ

『技術革新と収益性向上』

～コスト高対策に取り組み、コロナ禍以前の収益水準へ回帰する～

(3) 中期経営計画における重点戦略

新技術開発に挑戦し、新製法の確立や高付加価値製品の開発を実現する

冷凍食品市場や製菓市場などの成長市場に対するプロモーションを強化するとともに、海外市場、B2C市場などの新たな販路を開拓する

「不良品ロス」、「故障ロス」、「空転ロス」などの生産ロスを低減して生産性向上を図る

安心、安全な原材料調達と必要数量の安定確保

法令、規則、社内ルールに則った品質コンプライアンス管理の徹底

SDGs 推進によるコスト削減（製造部品のロングライフ化、省エネルギー化、廃棄物削減など）

人材教育、能力開発、技能・技術継承に注力する

(4) 中期経営計画の数値目標

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (予想)	2025年3月期 (目標)
売上高	5,643百万円	5,700百万円	6,000百万円
営業利益	782百万円	457百万円	800百万円

以上